

## 山口労働局長が三好院長と対談！テーマは「過重労働の解消」

11月23日の勤労感謝の日に合わせ、厚生労働省は毎年11月に「過重労働解消キャンペーン」を展開しています。そのキャンペーンの一環として、山口労働局 小松原局長が当院を訪問され、三好院長と対談されました。

対談では、昨今の過重労働実態および当院の取組が主なテーマとなり、院長が自らの産業医としての活動実績から肌で感じる部分も含め、小松原局長と熱く意見を交換しました。特に医療機関は人材の確保と育成が経営の根幹と言われている中で、働きやすい職場づくりが何よりも重要。そのための工夫は何かありますか？との問いに、「医療福祉の現場は24時間体制。負担をどのように分散するかを考え、さまざまな工夫をしています。なにより、新病院設計に際しては、職員の意見を大きく反映し、動線の効率化を実現しました。」と、院長からの回答。その後の病院見学で、局長自ら部署の取組を興味深く聞かれていました。過重労働解消が職員の元気を作り、職員の元気が地域の元気を作る、そういった好循環に資する工夫を、これからも努力を惜しまず取り組んでまいります。



山口労働局の小松原局長と三好院長の対談の一コマ。熱く意見を交換されました。



定時退社週間を設定・推進しているリハビリテーション技術科で、上山スタッフリーダーから取組内容の説明がありました。



部署の業務改善運動が活発な栄養科を訪問。先日の嚥下食メニューコンテストグランプリ受賞のニュースもご存知だったのは嬉しいですね。